



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 6 日

上場会社名 ユニチカ株式会社

上場取引所 (東証第一部、大証第一部)

コード番号 : 3103

(URL <http://www.unitika.co.jp>)

代 表 者 代表取締役社長 大西 音文

問合せ先責任者 経 理 部 長 大槻 和夫

T E L : (06)6281-5721

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 3 四半期	169,684	9.1	6,263	△13.0	3,585	△27.5	1,462	△29.7
19 年 3 月期第 3 四半期	155,480	1.0	7,198	△15.0	4,947	△24.8	2,080	0.4
19 年 3 月期	220,572	—	11,171	—	8,458	—	2,562	—

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	3.08	—
19 年 3 月期第 3 四半期	4.37	—
19 年 3 月期	5.39	—

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	320,804	38,353	10.5	70.99
19 年 3 月期第 3 四半期	334,121	39,444	10.4	73.19
19 年 3 月期	328,382	39,959	10.8	74.24

2. 配当の状況

当社は第 3 四半期末日を基準日とした配当を実施していないため、記載を省略しています。

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日） 【参考】

前期決算発表時（平成 19 年 5 月 11 日）に公表いたしました当期業績予想の修正はありません。

4. その他

- | | | |
|---|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | : | 有 |
| 新規 0 社 除外 1 社（社名 ユニチカ宇治プロダクツ株式会社） | | |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | : | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | : | 無 |

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

本年度第 3 四半期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）は、世界的な金融市場の不安定化、原油価格高騰などにより景気の先行き不透明感が強まりました。こうした中、当社グループの業績につきましては、売上高は 169,684 百万円、営業利益は 6,263 百万円、経常利益は 3,585 百万円、四半期純利益は 1,462 百万円となりました。

事業別の状況は次のとおりです。

【高分子事業】

高分子事業全体では、原燃料価格の更なる上昇に対し、製品価格改定を更に推進するなど収益の確保に努めました。

フィルム事業では、ナイロンフィルムの国内販売の伸長、海外子会社の収益改善、またポリエステルフィルムの工業用途の市況回復もありましたが、原料価格の高止まりが引き続き利益圧迫要因となりました。樹脂事業では、PET ボトル用樹脂の販売が減少しましたが、自動車部材、電気・電子部品関連を中心に機能性樹脂の拡販が更に進みました。不織布事業では、農業、ルーフィング用途は低調でしたが、オムツなど衛材用途が好調に推移しました。

【環境・機能材事業】

環境事業では、これまでの受注案件の工事進捗に伴う収益計上が進んだものの、市場環境が激変する中、採算性の改善に遅れがみられました。機能材事業では、ガラス繊維は、IC クロスで電子部品業界の在庫調整の影響が続きましたが、産業資材向け用途の販売が伸長しました。また活性炭繊維、ガラスビーズも堅調に推移しました。

【繊維事業】

合成繊維事業では、ポリエステルは短繊維が概ね堅調に推移しましたが、原料価格の急騰などにより長繊維の衣料・産業資材用途ともに収益への影響を受けるとともに、ナイロン繊維の販売が減少しました。またセメント補強用ビニロン繊維は引き続き堅調に推移しました。一方、天然繊維事業は、全般的に業界内の競合激化、為替の影響等により厳しい状況で推移しました。

【生活健康・その他事業】

生活健康事業では、メディカル分野が概ね堅調に推移するとともに、健康補助食品分野の収益が改善しました。その他事業では、マンション販売に進展がみられました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末の総資産は、前期末に比べ 7,578 百万円減少し、320,804 百万円となりました。主な増減は、売上債権及びたな卸資産の増加と投資その他の資産の減少であります。

少数株主持分を含む純資産は、四半期純利益による増加がありましたが、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の減少により、前期末に比べ 1,605 百万円減少し、38,353 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想の修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

除外 1 社：ユニチカ宇治プロダクツ株式会社

ユニチカ株式会社を存続会社、ユニチカ宇治プロダクツ株式会社を消滅会社とする吸収合併を行いました。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の一部において簡便的な方法を採用しています。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表
(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (19. 3. 31現在)	当第3四半期 (19. 12. 31現在)	増減	前第3四半期 (18. 12. 31現在)
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	16,501	15,117	△1,384	14,001
受取手形及び売掛金	49,734	52,316	2,581	51,067
たな卸資産	65,266	68,158	2,892	68,307
その他	8,562	8,251	△311	9,737
流動資産合計	140,065	143,844	3,778	143,114
II 固定資産				
有形固定資産	164,115	164,213	98	164,653
無形固定資産	1,651	1,553	△98	1,551
投資その他の資産	22,550	11,192	△11,357	24,802
固定資産合計	188,317	176,960	△11,357	191,007
資産合計	328,382	320,804	△7,578	334,121
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	41,999	39,158	△2,840	35,887
短期有利子負債	106,760	132,852	26,092	101,726
その他	20,239	20,628	389	20,791
流動負債合計	168,999	192,639	23,640	158,406
II 固定負債				
長期有利子負債	90,198	67,678	△22,519	103,605
退職給付引当金	3,926	3,731	△194	4,532
その他	25,299	18,400	△6,898	28,133
固定負債合計	119,423	89,810	△29,613	136,271
負債合計	288,423	282,450	△5,972	294,677
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	23,798	23,798	—	23,798
資本剰余金	1,661	1,661	—	1,661
利益剰余金	6,660	7,117	456	6,029
自己株式	△37	△42	△5	△35
株主資本合計	32,082	32,533	451	31,453
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	1,039	362	△677	1,034
繰延ヘッジ損益	2	△0	△3	2
土地再評価差額金	3,444	3,475	31	3,653
為替換算調整勘定	△1,258	△2,610	△1,352	△1,333
評価・換算差額等合計	3,227	1,227	△2,000	3,356
III 少数株主持分	4,649	4,593	△55	4,634
純資産合計	39,959	38,353	△1,605	39,444
負債純資産合計	328,382	320,804	△7,578	334,121

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第3四半期 (18.4.1~18.12.31)	当第3四半期 (19.4.1~19.12.31)	増減	前期 (18.4.1~19.3.31)
I 売上高	155,480	169,684	14,204	220,572
II 売上原価	125,227	140,174	14,946	178,211
売上総利益	30,252	29,510	△742	42,360
III 販売費及び一般管理費	23,054	23,247	192	31,189
営業利益	7,198	6,263	△934	11,171
IV 営業外収益				
受取利息・配当金	353	320	△32	399
持分法による投資利益	91	615	524	274
その他	2,086	1,592	△493	3,074
営業外収益計	2,530	2,528	△1	3,748
V 営業外費用				
支払利息	2,861	3,062	201	3,875
その他	1,919	2,143	224	2,585
営業外費用計	4,780	5,206	425	6,461
経常利益	4,947	3,585	△1,362	8,458
VI 特別利益	36	1,269	1,232	41
VII 特別損失	2,347	2,233	△114	5,129
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,636	2,621	△15	3,369
税金費用	660	1,279	619	947
少数株主利益(△は損失)	△103	△120	△17	△140
四半期(当期)純利益	2,080	1,462	△617	2,562

セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期 (18.4.1~18.12.31)

(単位：百万円)

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織 維 事 業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	49,294	18,202	74,842	13,139	155,480	—	155,480
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	2,878	526	421	2,356	6,182	(6,182)	—
	52,173	18,728	75,264	15,495	161,662	(6,182)	155,480
II. 営業費用	46,444	18,173	74,295	13,865	152,779	(4,497)	148,281
営業利益	5,728	555	968	1,630	8,883	(1,684)	7,198

(注) 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は1,705百万円であります。

当第3四半期 (19.4.1~19.12.31)

(単位：百万円)

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織 維 事 業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	53,088	23,411	77,736	15,448	169,684	—	169,684
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	2,985	439	499	2,635	6,559	(6,559)	—
	56,074	23,850	78,235	18,083	176,244	(6,559)	169,684
II. 営業費用	51,680	22,780	77,405	16,535	168,401	(4,980)	163,421
営業利益	4,393	1,069	829	1,548	7,842	(1,578)	6,263

(注) 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は1,641百万円であります。

前期 (18.4.1~19.3.31)

(単位：百万円)

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織 維 事 業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	66,198	28,947	103,236	22,190	220,572	—	220,572
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	3,832	703	561	3,372	8,470	(8,470)	—
	70,031	29,650	103,798	25,562	229,042	(8,470)	220,572
II. 営業費用	62,390	27,374	101,685	23,391	214,842	(5,441)	209,400
営業利益	7,640	2,276	2,112	2,170	14,200	(3,028)	11,171

(注) 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は3,088百万円であります。